

平成29年度 総研修会 「仰望の日」

ドリアン助川氏 講演会

演 題

『私たちはなぜ生まれてきたのか？
小説「あん」でハンセン病快復者の人生を描いた意味』



5月19日(金)

伊那文化会館 大ホール

開場 10:30

講演 10:50~12:20

講師

ドリアン助川氏

＜作家・詩の道化師＞

入場無料

※地域の皆様方のご来場をお待ちしています

【経 歴】 1962年東京生まれの神戸育ち。早稲田大学第一文学部東洋哲学科卒。放送作家などを経て、東欧革命やカンボジア内戦の取材経験からバンド「叫ぶ詩人の会」を結成。1994年デビュー後、ラジオ深夜放送「ジャンベルジャン」のパーソナリティとして全国の中高生の苦悩を受けとめ続け、放送文化基金賞受賞。2000年より3年間ニューヨーク在住、日米混成バンドで活動する。現在は詩と音楽のユニット「アルルカン・ヴォイス・シアター」のボーカルとしてライブ展開中。著書も多数、多岐に渡る。2015年、小説「あん」は河瀬直美監督により映画化、カンヌ国際映画祭「ある視点」部門のオープニング作品に選定され、50カ国以上で公開。小説は、英国、フランス、ドイツ、イタリア、台湾、韓国、ベトナムで翻訳刊行される。長野パラリンピック公式テーマ曲「旅立ちの時」作詞者。

【近 著】 「あなたという国」(新潮社)、「坂道LesPentes」(ポニーキャニオン)、「バカボンのパパと読む老子」(角川SSC新書)、「おばけの英語」(宝島社)、小説「あん」(ポプラ社)がある。

【会員実践発表】 9:50~10:10

高遠北小学校 中島 元博 会員

「きつだま2」をつくりあげた子ども達

【教育会合唱団発表】 10:15~10:30

『未来へ』 『ほらね、』

主催 公益社団法人 上伊那教育会